

別紙

株式会社フジ フジグランナタリー 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

フジグランナタリー

(2) 事業所の所在地

〒 738-0054

広島県 廿日市市 阿品 三丁目1番1号

(3) 業種

百貨店・総合スーパー

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、平成25(2013)年度 から 平成27(2015)年度までの 3年間とする。

3 計画の基本的な方向

【環境理念】

フジは「生活者の豊かな暮らしづくりを提案し、支援し、地域社会の発展に貢献する。」という理念のもと、企業市民として環境保全活動を積極的に推進し環境調和型企業を目指し、豊かな暮らしづくりの推進に努めます。

「環境指針」

- ① 私達は、環境保全活動を継続的に行い、企業市民としての役割を自覚して、地域社会の発展に貢献するよう努めます。
- ② 私達は、企業活動の中で、環境保全・資源の有効利用・省エネルギー・廃棄物の削減に努めることにより温室効果ガスの排出を抑制します。
- ③ 私達は、環境負荷の少ない安全・安心な商品及びサービスの提供に努めます。
- ④ 私達は、環境に関する法規制を遵守し、企業として自主的目標を定め、環境保全活動に取り組めます。
- ⑤ 私達は、この環境方針を実行・維持し、全従業員に周知するとともに、広く一般に公開します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素		3624.0	3611.0

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)	削減目標		目標年度 (平成27年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	3624.0	14.2	515.0	3109.4
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計	3624.0	14.2	515.0	3109.4
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	平成22年度を基準年度とし、主要エネルギーである電力の削減にて、温室効果ガスの削減に努める（ただし目標年度のCO ₂ 換算係数は、平成22年度と同率とする）。			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位数 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位数 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

(2) 実施状況の点検・評価

「店舗推進管理者：業務主任」を責任者とし、毎週「週間単位」での、使用電力量を社内のサイトへ登録。「環境保全推進・品質管理室」で取りまとめ前年対比で同サイトに公開。年間削減目標は前年比5%とする（全社での取組み）。

店舗規模に応じて、同規模他店比較の中で進捗状況の把握、指導を行う。

(3) 計画書等の公表

- ・ 事業所に備え付けて閲覧する。
- ・ 毎年度発行する「CSR報告書」において、実績及び進捗状況を掲載・公開する。

フジグランナタリー周辺図

